



『環境整備アイディア集』を配布し、ちょっとした工夫でできる保管法など約30例について紹介した。身近な廃材やわずかな費用でできるものばかりで、イライラのもとを解消し仕事効率UPにつながるものであつた。また、「文書整理トレイづくり」では、越前箪笥についての講話を聞きした後、キリの木材を使い、独自の指物技術を職人の方から伝授していただきながら、楽しく製作することができた。

4会 第4分科 教育条件整備と学校財政

講話では聴き入り、実習ではオリジナルのアロマスプレーをグループ毎に和やかに作り、心地よい香りに包まれ癒された。講話①「アロマとは：認知症予防効果」では、人間の五感のうちの嗅覚は古い脳に直結し香りは本能を刺激するので、認知症の予防につながると伺った。実習①②では、6種類の精油の中から好みの物を組み合わせて作成した。講話②「東洋医学で更年期対策と腸内環境作り」では、食事はよく噛み、消化酵素がでている8時までに夜ご飯を終え、発酵食品を多く食べること等を教えて頂いた。



5会 第5分科 健康教育

正しいだしの知識は、毎日の料理をより豊かに

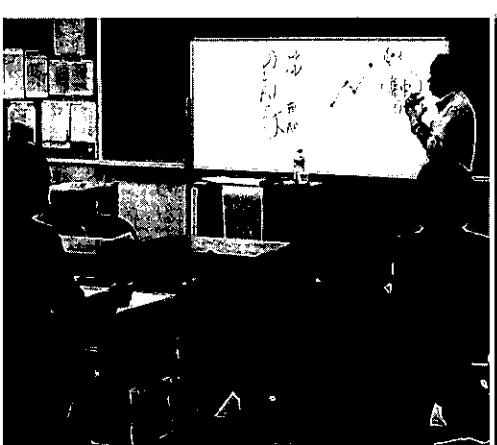
「豊かな心と体を育てる食育」

煮干し、こんぶ、干ししいたけ、かつおぶし、顆粒だしの5種類のだしを味わった。その後、各素材をスライドで詳しく説明していただき、家庭でも職場でも生かせる知識を教えてもらつた。その後のみそ汁の実習では、学んだことを活かし、こんぶと煮干しのだしをひき、大根、ねぎ、うすあげのシンプルなみそ汁を作つた。おいしいみそ汁とだしの香りにいやされ、和食のすばらしさ、奥深さを見直す機会となつた。



6会 第6分科 食育

専門職者としての自分と本来の自分を認識し、現場での子どもを通して親への寄り添いを考える。



教師としての立場、親としての立場から、視点を変えて子ども達に接していくことの大切さを、たくさん的事例をもとに学ぶことができた。課題について隣同士で何度も話し合う機会が設けられたことは、場を和やかにし、互いの本音を引き出すことにつながり、好評であった。「エゴグラム」を使って自分の性格分析ができたのも興味深かった。参加者からは、「自分の言葉を振り返り、生徒が安心、納得できる言葉を使っていくようにしたい。」等の感想が寄せられた。

7会 第7分科 教育相談と心の問題